

# 広島県高等学校PTA連合会 令和5年度 第2回会長研修会 分散会まとめ

## PTA ～これからの「PTA」のあり方～



日時: 2024年1月13日(土) 13:00~16:35

場所: 広島ガーデンパレス

広島県高等学校PTA連合会 研修委員会

## はじめに

「PTA加入は任意のはず」「役員決め方に問題がある」「学校の第2の財布になってしまっていないか」「いろいろな活動が重荷」「教員の働き方改革」・・・近年、PTA活動やPTAのあり方、PTAの存在そのものについて様々な問題提起がされています。各校のPTAの中心的立場にある参加者が、これまでの経験と知識を持ち寄り、これからのPTAのあるべき姿について語り合いました。

各分散会では当事者同士で活発な意見交換が行われ、多様な意見が出てきました。最後に提出していただいた自由記述アンケートと、ワークショップ中に模造紙に貼られた付箋の内容をまとめるとともに、研修委員会としての所感と今後への提言をまとめました。

今回の研修会を受けて、各校でのより良いPTA活動につながることを願っています。

第1分散会:教員の働き方改革のPTA活動への影響と今後の対応

第2分散会:家族の形や働き方が多様化する中で、いまの時代に合ったPTAについて考える

第3分散会:PTA会長になるにあたっての心構えと準備

第4分散会:毎年変わるPTAメンバーが力を合わせて楽しみながら活動できるチームビルディング

第5分散会:各地区のPTA連合会や、県高P連の活動やあり方について考える

第6分散会:PTAの存在意義そのものについて考える

第7分散会:小規模校ならではのPTAのあり方について考える

## 研修会の流れ

1. 参加者1人ひとりが分散会テーマを選ぶ

受付で、最も興味のある分散会テーマを選ぶ。(人数の偏りが大きい場合は多少誘導することもある)

最初の全体会で流れを説明する。

2. 分散会に分かれる

各分散会で、4-5名のグループに分かれ、メンバーを入れ替えながら3回程度ワールドカフェ形式で話し合う。

※研修委員会、県高P連のメンバーが各分散会にファシリテーター、進行役として入る。

3. 全体会で担当研修委員が各分散会の概要を個人的主観も交えながら話す。

4. 最後に参加者全員が、参加分散会のテーマに関する考えを記入(Google Formsを使用)

5. 研修会終了後、分散会の内容や各自の意見をまとめて全校で共有。

## ワールドカフェとは

ワールドカフェは、カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気の中で行う会議です。参加者は4-5人のグループに分かれ、テーブルごとに対話をします。一定時間経過するとメンバーを入れ替えて対話をすることを繰り返します。少人数での対話なので、相手の意見を聞きやすく、自分の意見も言いやすい方法です。

### ワールドカフェの手順

#### 1. 第1ラウンド

4-5人のグループに分かれます。

模造紙に付箋でメモを貼りながら、テーマについて話し合います。

#### 2. 第2、3ラウンド

テーブルホスト1人だけを残し、他のメンバーは第1ラウンドとメンバーがかぶらないように他のテーブルに移動します。

テーブルに残ったテーブルホストは、新しいメンバーにこれまで話し合われた内容を説明し、その後同じテーマについての話し合いを行います。

#### 3. 最終ラウンド

他のテーブルに行ったメンバーは最初のテーブルに戻り、移動先で話した内容とともに、同じテーマについて更に話し合います。

## 第1分散会 教員の働き方改革とPTA活動

コロナ禍があげ、いよいよ活動を通常モードに戻そうと思った矢先に立ちはだかる教員の働き方改革。以前はできたことができなくなった今、PTA活動にはどんな工夫が求められるかを考える。

### 1. 自由記述アンケート

- 働き方改革や、PTA活動については、校長先生次第で取り組み方が大きく違って来るのだと思いました。
- 校長次第でいろいろと変わりますね。
- 分散会は、ワールドカフェ形式で、話しやすい雰囲気でした。解決策を探るわけではないですが、色々な情報交換ができて有意義な時間が過ごせました。ありがとうございました。
- PTAに協力的か否かは校長先生次第などところがあるので、擦り合わせをしながら落としどころを見つける。  
会議のあり方とか、PTA側も改革して学校に協力できるように努力する。
- PTA活動はボランティアとっていましたが、教員は校務とされているとのことでしたので、今後は活動時間などの改革が必要なのかなと思います。  
ただ、教員の働き方改革に合わせた活動は、保護者も共働き家庭が増えた今、とても難しいと思いました。
- 学校にとってPTAとの連携は校務(学校としてなすべき業務)であると明確に理解ができた。教員にとっての職務でもあるが、教員はPTAの会員でもありボランティアの側面も持つため、それぞれのPTA活動において職務として動いていただくか、ボランティアとしてともに活動するかは明確な判断が必要と感じた。職務の場合は当然、働き方改革の一環で負担を軽減する工夫が必要(会議時間を短縮するなど)。子供たちの健やかな成長のためには、学校、保護者、社会の連携が基礎となるため、保護者も教員(職務としてもボランティアとしても)も誰もが無理なく活動できるPTAに変えていかなければならない。

### 2. 付箋記入内容

- 働き方改革で先生方がお困りのことでPTAがお手伝いできることがあるのでは？
- PTA活動には教員への手当がない
- 平日の日中しか活動できない。親が出られない。
- PTAに参加したい先生をつのる
- 先生方の働き方改革というよりPTAの改革をした方がいい
- 先生たちともう少し交流・会話したいけど時間がない
- PTAは社会教育関係団体≠ボランティア
- やりたい部活の担当になれない(自分が得意な部活の担当になれるわけではなく専門性が活かせない)
- 部活の負担を減らす
- PTAは先生の本来業務のはず
- 校長次第？
- 校長によって対応に差がありすぎる
- PTAからの要望には難色を示すのに、学校からの要望はゴリ押ししてくる
- サービス残業をなくしてしっかり残業代を払う！！
- PTAってボランティアではないですか

- 校長が現場を見てほしい
- 業務の見直し。ムダをなくす。
- 保護者は有給をとって活動してる
- 教員にとっては業務の延長
- 子供と向き合う時間を増やす！

### 3. 所感・提言

文部科学省のWebサイトには「教育委員会などの行政機関やPTA、社会教育団体など各種団体との連絡調整などの渉外」は校務(学校の仕事)であると記載されており、PTAとの連携は学校としての本来業務であることがわかりました。一方で、教職員にとってPTAは、会員としてのボランティア活動と、職場の業務という2つの側面があります。このため、業務としてPTA活動にたずさわっていただくには教員の働き方改革の影響を受けますし、ボランティアであっても保護者と同様に無理なく楽しんで参加していただける内容でなくてはなりません。教職員の働き過ぎが問題になっている昨今ですので、PTAも教職員の負担を軽減し、無理なく関わられる活動に改革していく必要があります。ただ、すべてのPTA活動を教職員の勤務時間内に行うことは、保護者側の負担が大きいため無理があります。学校側は通常の勤務時間外でのPTA活動も充分に行えるだけの人員配置が必要です。

いまの時代に合ったPTA活動にするためには、学校と保護者が互いに連携しながら変化していく必要があります。

### 4. 参考資料

文部科学省Webサイト

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/041/siryo/attach/1417145.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/041/siryo/attach/1417145.htm)

## 第2分散会 今の時代に合ったPTAとは

家族の形が多様化し、保護者の多くが仕事を持ち自由な時間が限られる。PTA加入は任意という考えが広がり、PTAそのものへの加入や役員就任を拒む保護者も増加傾向。PTAを取り巻く環境が変化する中、どのようにしてメンバーを集め、必要な活動を行っていくかを考える。

### 1. 自由記述アンケート

- 有意義な研修となり、ありがとうございます。今後のPTA活動に役立てていきたいと思えます。
- 他校とのディスカッションで、初めて聞いた内容や知りたかった内容などが聞けてとてもよかった。刺激になる様な話が聞けて、この内容を元にこれからの活動に繋げていけたらと思いました。
- 様々な学校の状況を知れて、これからの活動に活かせるようなことも知れたので、良かったです。ありがとうございました。
- 1番話に上がったのが役員決めが難航している、という話題でしたが、最終的にはやってる我々が楽しむしかない！楽しそうにやっていたら人は集まる、ということでまとまりました。
- それぞれ活動に差があって参考になる点が沢山ありました。ありがとうございました！
- どの学校も簡素化が始まっているなあと感じました。
- 楽しく他の会長さんと話が出来ました。
- いろいろな学校のお話が楽しくできて良かったです。参考になりました。
- 学校とPTA(保護者会)の関わり方は、場所によって様々ですね。一部の学校ではPTAがとても活発で、学校生活の一部として大きな役割を果たしているようです。それに比べると、他の学校ではPTAの活動が控えめで、少し影響が限られている印象を受けます。  
さらに、PTAの役員を務めることに対する保護者の考え方も学校によって異なるようです。どこかの学校では多くの保護者が役員になることに前向きで、積極的に関わっている一方で、別の学校では役員になることをためらう保護者が多いようです。  
これらの違いは、学校の方針や地域の風土、保護者のバックグラウンドなどによって左右されるのかもしれませんが、学校とPTAの協力関係は、子供たちの教育環境にとって大切な要素ですので、お互いに理解し合い、バランスよく進めていけたらなと思いました。
- 初めて参加させていただきました。やはりどちらの学校もPTA役員決めで苦労されてるんだなあと思いました。分散会に参加して皆さんの意見やそれぞれの学校の特色など聞くことができて有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。
- 様々な学校の事情やPTAの活動を聞くことが出来て勉強になりました。長く会長をしていらっしまった方のお話や役員の決め方で新しいご意見を聞くことが出来て、楽しかったです。来て良かったと思いました。
- 他校のPTA活動が聞けて参考になることが沢山ありました。
- いろんな話が聞けてよかった。参考になった。
- 各高校の役員の方と現状の様々な話ができ、大変有意義な時間でした。やはり同じ様な課題を抱えているんだと認識できました。
- ありがとうございました。
- 私のテーブルでは役員のみ手が少ないという意見が出ました。私の学校では2年前に委員会数を減らし、役員数も減らしたのでそこまで勧誘に困ることはないです。

PTA入会について任意強制という話も出ました。PTAが担っているところも多いので、議論が加熱してきたら、学校の役割と保護者の役割を整理して議論する必要があると思います。

引き継ぎがないという意見も多かったです。Lineworksを使っている学校があり、そこでデータを保存することで引き継ぎが楽になるという話が出ました。

- 普段話が出来ない方たちと色々な話が出来るととてもいい体験をさせて頂きました。ありがとうございました。
- PTA活動や役員決めなど各学校の様々な意見を聞くことができ、今後の活動などに参考にさせていただきます。

- 時代とともにPTA活動も変化をしなければならないと思います。

- PTAのイメージが悪すぎる。

子供と関わる最後の3年間である気持ちや志しの意識の違いが激し過ぎる。

役員をやってみると多くの方が楽しかったと言って頂けて嬉しかった。

- 役員をどう決めるのか、といったお話がメインでした。

くじで決めたり、高校2年の方が会長をするなどまちまちなことがわかりました。

この材料を、持ち帰り役員の方とお話ししてみたいと思います。

- それぞれの高校で一生懸命に活動されておられる方々と、様々な話ができ非常に有意義な会でありました。

とくに9年間もPTA会長をされておられる方とお話しできたことは、これからの私自身の大きなモチベーションになりました。

また、全国大会に出場するようなクラブを抱えている学校の話は、知らないことが多く驚くことばかりでした。

役員決めはどのPTAも苦勞されていて、私が内心で試みたいと思っていた「希望者だけによるPTA役員の組織づくり」をやってみようという大きな原動力となりました。

大変になる研修会を開催していただいた運営の皆さまに感謝致します。ありがとうございました。

## 2. 付箋記入内容

- 食堂運営がPTAになっている。
- 言ったもん勝ち
- 体育祭（1日の会場使用料5万円）
- 役員会が少な
- 3年間というハードルが高い
- アルバム 個人情報 扱いが大変
- 自分たちが楽しく
- PTAと生徒の話し合い
- 保護者のみ 先生方の参加が少ない
- グリーン作戦 保護者が参加しない
- 先生とのコミュニケーション
- OB会があるところ（特に強豪運動部）PTAのシステムがしっかりしている。
- 分担制にして集まる回数を減らしています
- 保護者が消極的

- 今年度PTA未加入の人が居た。結果的に加入されたが対応をどうする
- 学校と保護者との関りが近くて先生方からの学校の様子もすぐ聞ける
- なるべく省略化する方針で進んでいる
- 保護者の意識改革 ※小中のPTAとは違う活動
- 役員になった人をやる気にさせたい
- 仕事で調整とることが難しい
- 役員が決まらない。なる人がいない
- 生徒に子供が居なくても会長はできる学校もある
- PTAのイメージが悪い
- 卒業後の(会長)執行部のなり手不足
- 強い部活を作る(PTA・地域)
- 役員決定はくじ引き
- 役員の1本釣り
- 本部役員決め or 各役員決め 学校の規模による
- 希望者が少ない 仕事量が多いイメージ 負担を減らしてできるイメージへ変えてもらう
- PTA会費 値上げ問題 学校主導になっている
- 活動内容 見直しがいるか？
- 子供の催し物が見れない
- 役員決め 会費が異なる
- 学校設備にPTA会費を使っている
- 楽しむ
- 生徒のプレゼンでPTA会費の使い道を決める
- 役員の数
- 学校の催し物はほとんどしない
- 役員決めの方法 アンケート くじ引き
- やりたい人だけでやってみる
- ハズレな校長だとやる気が無くなる
- 我が子とかかわることができる最後の3年間！
- 初めての高校どんなところだろう？
- 先生ってどんな人なんだろう？
- どんな友達とどう過ごしているか？
- 解決策はPTA役員になること！

### 3. 所感・提言

PTAは戦後すぐの時期にアメリカから輸入される形で当時の文部省が設立を推奨して全国の学校にできていった組織です。子供たちの健やかな成長のために教員と保護者が協力しあって活動してきた長い歴史がありますが、PTAを取り巻く環境が変化しているのに、PTAがそれに合わせた変化ができていないために様々な問題が指摘されています。

まず、家族の形が多様化するとともに、保護者の多くが仕事を持ち、自由な時間が限られます。PTAへの加入は任意という考えも広がり、役員就任を拒む保護者が増加傾向にあるようです。



このようにPTAを取り巻く環境が変化する中で、どのようにしてメンバーを集め、必要な活動を行っていくかを考えたのがこの分散会です。

参加者の意見から分かったことは、一口にPTAと言っても、各校に特色があることです。学校側の方針、保護者の傾向、地域性が影響しているのではないかという意見もありました。総じて役員決めに苦勞されていますが、強豪クラブのある学校や、PTA改革をした学校では役員決めの苦勞はそれほどないようです。今回は各校の体制の詳細までは踏み込めませんが、引き続き互いに情報共有をしてよりスムーズで持続可能な運営ができるよう工夫していただければと思います。

## 第3分散会 PTA会長になる心構えと準備

来年度のPTA会長就任を控え、自分に何ができるのか、その重責を果たせるのかと悩む会長予定者の不安をやわらげ、スムーズに新体制に移行するための準備をはじめます。

### 1. 自由記述アンケート

- 運営方法だけでなく、精神的なことを現会長から聞くことができ大変有意義な時間でした。
- 大変意義のある会でした。ありがとうございました。
- 現会長さんの活動の話またどうモチベーションでされてるかお聞きできたのが、すごく良かったです。次回以降もこの会があると、次の会長さんのためには、良い機会ですし、勉強になると思います。
- 今日はありがとうございました。  
様々な学校の会長さん、副会長さんにPTA活動の内容や悩みなど聞かせていただき、大変参考になりました。  
特に、役員の次の候補者をどうやって見つけていくかという点において参考になりました。
- 皆同じ思いでいたことを楽しくワークショップで話げできました。ボランティアなんだから、まず自分が楽しまないと人を楽しませることができない、辞めろと言われてたら貴方代わりにやってね、と言えればいい。それくらい楽な気持ちでやれば良いと言われ気持ちが楽になりました。
- 同じPTA組織とはいえ、各校毎にその形態は異なっており、それぞれに一長一短があることがよくわかった。完璧な形はないものの、現会長として、次期会長により一層良い形で引き継ぎを行いたいので、本日の話し合いはとても参考になった。
- 会長になることへの不安や、前会長との比較など色々不安がたくさんありました。
- 校風もある中で、自分らしくまた子供のためとの思いで、孤独にならず出来たら良いと思います。
- 新しく会長になられる方から、「現会長と同じようにできるかが心配だ」、「何をどうしたら良いかわからない」、「引継ぎがない」、などの意見がある中、自分色に染めるや、補佐的な人を探す、楽しんでやるなど、解決策などもありました。  
様々な意見が聞けて、大変参考になりました。
- 皆が楽しいと感じていただける会の運営にしていくために、組織作りや役割作りが大事だと思いました。やはり人なので、適材適所に上手く人事配置できる仕組み作りをし、その後役割を明確にしたのち、問題や課題解決のための話し合いの場を持てるようにしていきたいと思います。
- PTAがどうしても苦痛を感じる保護者がいるため、クラブ活動の延長として楽しく活動していく必要がある。PTAに対するハードルを低くするために工夫し、次年度以降、「またやりたい」というリピーターを増やしたい。
- みなさんと色々なお話げでき貴重な時間を過ごせました。  
ありがとうございました。
- 色々な方と現状の不安だったり前向きな話だったり、会長や役員さんの話が出来てよかったです。

### 2. 付箋記入内容

(会長なった経緯・不安)

- 仕方なく・・・という気持ち。
- クラブ活動の延長的な感覚、楽しくて。

- コロナのため、何も無い。楽だから・・・ということで、勧められた。
- OB・OGの力が強い。「委員」が来るも、断る選択がなかった。
- 前任者の意見が大きく左右される。また、他の皆さんの熱量の具合がつかめない。

(会長になるにあたって大事だと思うこと)

- 引継ぎのファイルが有って、助かった。
- 引継ぎの問題(コロナ、通学他)ができていない・できていない
- 次年度への会長の引継ぎについて
- 会長の言葉には力がある。

(会長としての心構え)

- PTA会長は、孤独にならないことが大事。
- 会長だからこそ楽しい方向に変えられる。
- 役割分担することを。
- 1人でかかえこまない。
- PTA会長・役員の魅力は、たくさんの、普段は話せない話ができること。
- 楽しく、自分が楽しまないと！苦痛なものは排除して。
- ボランティアだからこそその強みもあると思う。
- 会長の色で良い、前会長や顧問は関係ない。

(会長としてPTA活動を進めるために)

- 自己満足、子供に示すことができる。
- リーダーとして、仕事を振る。
- 部長さんにも、ある程度の責任を持ってもらう。
- 1人では苦しいので、誰か見方を作ることが必要。
- PTA組織を、これからどうするかを考えていく。
- 自分の中で何らかのことにアプローチしたい。
- 対面方式で実施している。
- 委員会開催(月1回報告)、30分くらい。議事録は必須、司会は副会長が担当。
- 組織の仕組みづくり 思い、冷めた意識、段階的に会長になる道すじ  
→役割分担の明確化(特に副会長)
- 男性が少なく、女性のイメージが多い。男性の参加が必要。
- 会議の開催について、しっかり感がある。
- 部長さんとコミュニケーションをしっかりと、会議を開く。年5から6回。
- 予定を早く立てたい。保護者が多い。
- 1年間で何か一つ変えてみる、ダメなら戻す。
- 学校側から早めのスケジュールを提出してもらう。(催し物ほか)
- 子供の笑顔が一番、子供が楽しんでいる姿が見れると、とてもうれしい。

【分散会担当者の感想】

- 会長に就任するまでの経緯も様々。  
会長という役職の大きさに対する不安もいっぱい。  
でも、会長になったのであれば、まずは自分が楽しむことが大事。  
いろんな人と話をし、決して1人で抱え込むことをせず、他の役員さんと一緒に活動を続けていく、その大事さを改めて確認し合う分散会であったと思う。

### 3. 所感・提言

この分散会では、来年度の会長予定者の不安を和らげ、今のうちから横のつながりをつくって相互に情報共有ができる環境を作ることが目的でした。分散会には現役のPTA会長も参加されており、経験談を交えてお話しいただくことができました。

PTA会長は、保護者の代表として会全体をとりまとめ、様々な決断を求められる重要な立場にありますが、特に権限があるわけでもなく、調整役としての立ち回りが重要となります。毎年メンバーが替わり、イレギュラーなことへの対応も逐次発生します。会長にならないと分からない(知らされない)こともあります。このため歴代PTA会長の活躍ぶりをみて、多くの予定者は自分にあんな運営ができるだろうかと不安になります。

分散会で出てきた意見から、会長予定者へのアドバイスをまとめると以下のようにになりました。

- 前の会長と同じことをしなくて良い。自分色に染める。
- 孤独にならないように、仲間づくりをする。補佐してくれる人を作る。
- 1人で抱えないように、役割分担。
- 楽しんで取り組む。

この中で、特に1番めの「自分色に染める」ことがポイントだと思います。歴代会長と同じようなことはできません。自分がやりやすいように体制を作り、不得意なことは他の人に振るくらいでないと、会長職はつとまりません。これから会長になれるみなさん、気負わず、自分のペースで取り組んでください。

## 第4分散会 PTAメンバーのチームビルディング

毎年構成が変わり、参加動機も様々なPTAメンバーが、力を合わせ、楽しみながら活動ができるチームをいかに作るかを考える。

### 1. 自由記述アンケート

- 他校の体制や活動などが参考になりました。
- PTA執行部をやりたい人が少なくなっているという課題がある中、「PTAは大人のサークル活動」として、活動は大変というイメージから、活動は楽しいというイメージに変えられたという学校のお話目から鱗が落ちた。
- 外部のPTA研修会は他校のPTAの方とも交流が深められる。ただ、初めてPTAに参加した方は参加していいか解らないので、参加しやすいアナウンスが必要。  
PTAは自分も楽しく参加することが大事。その想いを新たなPTA勧誘時に伝えることで活動の参加率を高めていく。
- 各単Pでの組織形態や役員を選出方法などは違っていますが、やる気のある保護者が組織を牽引していく必要があると感じました。そのためにも、魅力のある楽しい活動を実施するなど、変革が求められていると感じました。
- 少人数だったので、皆で和やかな雰囲気楽しくお話ができました。ありがとうございました。  
PTA管理で、保護者から匿名で送信できる「ご相談メール」をされているというお話がありました。相談しにくい子供の相談やPTAへのクレーム対応としてもいいなと思いました。
- 役員の集め方が各校により違いがあった。楽しく活動されているところには自然と人が集まる。楽しいこと(バーベキューなど)をしている学校はニックネームで呼び合っているなど仲が良い。  
「PTAは大人のサークル」と表現されていたが、まさにそれを実践されているところは素晴らしい。
- 保護者間コミュニケーションのとり方について意見交換をし、文化祭などの行事で保護者が集まるタイミングで懇親会を開催するなど工夫されている。  
高P連事業(全国・中四国)へ参加すれば、移動時間などで雑談しコミュニケーションがとれる。多くの各単位PTAの保護者に同行してもらう様に広報する様に心がけているとのことで共感した。  
PTA活動を快く思っていない方への対処として、執行部へ参入いただき、一緒に活動してもらう様に誘うことが有効であると言った意見があり共感した。
- 活発な意見交換ができ、有意義な時間を過ごしました。
- 色々な意見が聞けて良かった

### 2. 付箋記入内容

- コロナブランクの影響が大きい
- やらせてくださいと言ってもらえる楽しい活動にすべき
- 一緒にやりませんかという呼びかけが大切
- ご意見箱、ご意見メールの設置が必要
- 他人を許す雰囲気が重要
- 役員決めや未加入者の対応が鬼門
- 飲みやバーベキューをした

- PTAは労力の割に効果は薄い
- くじはNG
- PTAは大人の活動

### 3. 所感・提言

PTAでは毎年メンバーが入れ替わります。主力の3年生保護者が抜け、新メンバーが加わります。経験豊富な方もいれば、初めて引き受ける方もいます。PTA役員になった動機もさまざまですし、お酒を飲む人飲まない人、年齢も性別もさまざまです。共通点といえば同じ高校に通わせているということくらいです。この分散会では、そんなPTAメンバーが力を合わせて楽しみながら活動ができるチームづくりを、短い期間でいかに行って、さまざまな活動に楽しみながら取り組んでいけるようにしていくかを話しあいました。

チームビルディングのための取り組みとしては、①BBQ、②飲み会、③高P連の大会(全国、中四国、県)への参加、④相談メールが挙げられました。

まずはBBQですが、BBQにはチームビルディングに必要な要素が詰まっています。第1に、短期プロジェクトであること。長い準備期間は必要なく、PTA新体制発足後すぐに実施できます。第2に、役割分担ができること。グリルなどの備品を準備する人、火起こしをする人、食材を準備する人、メニューを考える人、調理する人、肉を切り分ける人、子供の遊び相手をする人、おいしく食べる人…。すべての人に何らかの役割ができ、1人ひとりの人柄も垣間見えます。なにより美味しいものを皆で食べるという「共通の成功体験」が得られるのが重要です。そして第3に、家族も参加することで、パートナーや子供たちに、普段PTA活動を一緒にしている人を紹介できますので、今後のPTA活動に参加しやすくなります。

昔ながらの飲み会も定番のコミュニケーションスタイルです。最近はお酒を飲まない人も増えてきているので、食事会や茶話会、スイーツビュッフェなどなど、構成員の好みに応じて選ぶと良いでしょう。

高P連の行事への参加も重要です。遠方での大会への参加は人数に限りがありますが、ともに泊りがけで参加して同じ体験を共有することで一気に親密度は高まります。県大会は日帰りですが、その分予算の制約が少なく、多くの人に参加できるというメリットがあります。

また、子供のことの相談やPTAへのクレームを匿名で送れる相談メールは、PTA会員の普段はあまり表には出てこない困りごとの発掘やガス抜きにも良いと思います。

良い雰囲気づくりに関して、特筆すべきものとしては①PTAは大人のサークル活動、②他人を許す雰囲気づくり、③ニックネームで呼び合うことがあがっていました。

やらされ感や義務感だけでするPTA活動は苦行でしかありません。「子供のため」というテーマのもとに集まったサークル活動だと考えれば、めんどろな作業も含めて楽しめるはず。活動内容も、現役メンバーが楽しめるものに毎年変えていけば良いと思います。そして、人によってPTAにさける時間は違いますので、活動に参加できない人を許し会える雰囲気づくりが重要です。また、親しみを込めてニックネームで呼び合うのもより良いチーム作りにつながります。

## 第5分散会 地区や県の連合会での活動について

自分の学校だけでも大変なのに、地区や県でも様々な役割を求められるPTA会長。今までと同じやり方で良いのか、今の時代に合ったPTA連合会での活動は何なのかを考える。

### 1. 自由記述アンケート

- 他地区との交流を更に深めていきたいと思います。
- 楽しく意見交換出来ました。
- 所属地区によって不安や思いがあることがわかった。楽しく意見交換できた。
- もっと他の地区の方とのコミュニケーション取れると良いなと思いました
- 研修会お疲れさまでした。  
テーマもそうですが他地区との交流が出来て良かったです。
- 横の繋がりがや輪の広がりについて大変勉強になりました。  
地域ごとの違いなどがあり課題は山積みだなと感じました。
- たくさんの方の意見を聞くことが出来てとても楽しく時間がすぎるのがとてもはやかった。
- 今回初めてカフェ形式に参加し、皆さんと楽しくお話しできて良かったです。
- 学校区分についての問題意識をお持ちの方がいらっしゃると思っていましたが、学校の地域性など多様な問題があると感じました。  
また、今回のディスカッションで解決策はありませんが、前向きな意見が聞けて良かったと感じました。
- 自分の地区以外の方とも知り合うことができたり、連合会の活動を通じて地区の繋がりが強くなったり、と楽しいことが多い。
- 第5分散会にて、色々な皆さんの意見がありました  
今後のPTAの活動について、活動は楽しい、またこの楽しさをどう伝えるか  
コロナ禍で引き続きができず  
などがありました  
色々な高校の役員さんの意見を聞いて皆さん沢山の思いがあると感じました
- 地区 県の活動を通じて幅広い意見交換ができるのがとても良いと思う

### 2. 付箋記入内容

- 地区が広範囲すぎて、集まりが困難(離島もあるため、船の時間など限りがある)  
その状況で、広島県大会の開催地区となり、色々問題が多かった
- まず役員決めに苦戦する  
通学が広範囲で、役員のみならずが難しい  
個人情報関係で、情報が薄く、勧誘に困る。学校の協力が必要  
合格発表後、入学する情報収集し勧誘している  
気心が知れた人と役員ができるように勧誘している
- コロナで行事を経験していないまま、役員を引き継ぎとなったため、単Pのことも地区のことも...何もわからず困っている
- 皆がやりたい!と思えるように、親睦行事を増やしている
- 参加してみると(単Pだけでなく、地区や県、中四国、全国...)楽しいことが多い

- コロナをマイナスにとらえず、不要なものは取り止めて、あたらしい形に変えるチャンスにしている
- どういった形で役員決めをしても、参加の有無が決まってくる。  
小中学校での大変なイメージが強く、集まりが悪いなかでの地区や県の集まりになると参加者が少なくなる
- 地区や県での親睦を深めることで、単Pを越えての活動に繋がってくる
- とにかく楽しい  
そんな雰囲気周囲に感じられるように、単Pの行事を盛り上げ、地区や県への参加に繋げている

### 【分散会担当者の感想】

思いが強く、熱く語られる方が各テーブルにいらっしゃり、付箋に書くことが難しい場面が見受けられ、私が書いていくことで、さりげなく促しました。

そうしたなか、周囲のかたは上手にプラス要因をいれてくださり、雰囲気が和やかになるところとどう答えていいか？という話題で

(特に今回の広島県大会について)

重い雰囲気になる場面があり、岡崎会長がフォローしてくださりました。

### 3. 所感・提言

この分散会には、連合会の活動についてポジティブに考えている方と、ネガティブな考えをお持ちの方がいらっしゃいました。

まずポジティブな面では、「他地区との交流ができて良い。もっと交流したい」「意見交換ができる」「単位PTAや地区内のメンバー同士の懇親も図れる」といった意見がありました。これらは連合会の各種活動の趣旨と合致しており、一定の成果をあげられている有意義な活動であると考えられます。

次にネガティブな面に触れます。全国的には、会員の負担軽減のために連合会から脱退するという話も聞こえてきます。ポジティブな面を活かして持続可能な活動としていくためには、連合会の活動自体も変わる必要があります。本分散会では、特に記憶に新しい広島県大会が話題にのぼっていました。主管した尾三地区の皆さんには相当なご負担があったようです。地域によっては準備に参加できる人数に差がありますし、特に離島を抱える尾三地区はフェリーの時間もあり集まりづらい現状もありました。また、大人数が参加するイベントとしては、この第2回会長研修会もあり、開催までは担当校にかなりの時間と手間の負担がかかっています。いずれ中四国大会や全国大会もまわってきます。参加するだけなら楽しいこうしたイベントも、主催側は大変です。楽しく取り組める工夫、負担を軽減する工夫、一部の人に負担が集中しない工夫が必要です。PTA連合会自体にも改革が必要です。



## 第6分散会 PTAの存在意義

「PTAは必要」という結論ありきの議論ではなく、本当はないといけないのか、なくなったらどうなるのか、PTAの存在意義そのものを考える。

### 1. 自由記述アンケート

- 様々な情報交換ができ、とても良かったです。大人数だと意見言い難いですが、少人数なので意見言いやすかったです。  
参考になる意見が多く勉強になりました。
- 他の学校のことがいろいろわかってよかった
- 生徒・先生・保護者がお互いに協力して、ときには学校側へ改善提案するなど、子供たちのためにPTAは継続的に存在していきたい。  
ただし各校ともPTA活動に理解を求めたり、役員の募集方法などには課題も多いと感じた。
- PTA活動を継続するにあたって他の学校がされている方法を沢山聞いて良かったです  
今後の活動や継続に非常に参考になる時間となりました。ありがとうございました
- 豊富なお茶とお菓子で和やかな雰囲気でした。運営スタッフの皆さま、ありがとうございました。
- 学校は違いますが 抱えている内容は共通するものが多かった。  
色々な意見は参考になりました。
- PTAの存在は必要。しかし、人が集まらない。  
集めるにはどうしたら良いか？  
で話が終わってしまいもう少し時間が欲しかったです。
- 良かった
- 存在意義は学校との関係性によると思います。必要ではないとの意見は無いと感じました。存在価値がお金だけで繋がるのはあまり良い感覚では無く、PとTがボランティア精神で子供本位で活動出来れば良いのかなと思います。Tは業務の一環である考えでは運営は難しいのかと。  
お互いが協調性を持って関われば、より一層に存在意義は担保されるのではないかと。  
他校の意見を聞ける場は必要であると思うので良い場になりました。  
ありがとうございました。
- 有意義な話し合いでした。  
答えまでは出ないのですが、高校の特徴によってPTAに求められることも違うようでした。
  - 悪いニュースもあるがやってみると楽しい。
  - そういう意味では、どう魅力を伝えていくのかが問題
  - やりたくない人もいるからそこは多様性だね
  - 遠くの親戚より近くの他人
  - PTAは生徒のためにあるべきなのではないか
  - それぞれのできる場所で関わってくれたらよいが、引き受けたらやらなくてはならない責任感の強さの方が優ってしまうようだ。

- 他校の会長、副会長さんと様々なお話を聞かせていただき、自校への持ち帰り～展開をしてみたいなど  
思える有意義な情報もありました。  
ほんの数時間ではありましたが、貴重な経験となりたいへん勉強になりました。
- 勉強になりました。有難う御座いました
- 運営、お疲れさまでした

## 2. 付箋記入内容

- PTA活動を通して親が学校の活動に関われる
- 登校自身(交通手段)の問題アリ
- しんどいときも多い
- 集まることが大変
- 現在の活動で充分か
- ネットワーク形成ができる
- 皆仕事を持っており、時代にそぐわない
- 役員自身が楽しめているか？
- PTA役員の成り手不足⇒個々の負担大
- あまり話さない子の状況がわかる
- PTAでの活動が必要か
- 活動を通して学校を近く感じる
- PTA役員募集の仕方
- 学校に物申すことができる
- PTAやってみると楽しいかも
- PTAやってみるとに入るまでは大変そうというイメージ
- PTA強制
- お金
- PTA役員 私生活への影響
- いる or いない ▷ いる
- 学校側はどう思っている？
- PTAに対する学校・保護者の温度差
- 生徒会とのコミュニケーション
- PTA会長の負担が大きい
- 先生ごとの温度差が働き方改革
- 部活が盛んな学校としての運営 学校としてはいるのかな？
- SNS作戦
- 母校だとすんなり活動しやすい
- PTA会長役員と学校の関係
- 存在意義→各校取り組み、学校との関係性
- 各校のPTA活動は？
- 解散→お金集め
- 参加することが大変な人もいる

- 役員会の時間の取り方
- 役員をやってみるとわかることも多い
- 高校ごとの事情いろいろあるんだなあー
- 過去の慣例に従って動く
- 野球部中心の生活
- PTA会長活動→食堂のサポート
- PTA会長役員決めの問題
- PTA任意加入についての方法、役員も抽選
- 温度差がある
- Bad News or 先行
- 多様性
- PTAについて悪いイメージのニュースが多い
- 高校は学区が広いので保護者のつながりが少ない。役員をするとつながりが多い
- サポートしてもらっている
- 高P連加入のメリット
- 同じ子供の親
- 役員になる??学校に関心、学校のことしれる、子供の??見える
- 役員になると学校に興味を持って子供とも近くなれるし学校内が良く分かる
- 鹿児島で裁判!!
- 任意なのに勝手に加入!!
- 校長と元PTAの会長訴える
- 考えるきっかけ
- 遠くの親戚より近くの他人!
- 多様性
- 活動 親のみ、先生・生徒、??の負担を考えると↓

#### 【分散会担当者によるまとめ】

##### ★メリット

- 学校との関係性や先生との繋がり、活動を通して保護者が学校を身近に感じる。また、活動を通して学校側に物申すことができる。
- あまり話さない子供でも、役員として活動することで学校が分かる。
- 保護者が親、大人になってからの新しいネットワークができる。同じ子供を持つ親として、同じ自営業として、その他etc...

##### ★デメリット

- PTA役員、係決めなどの成り手不足や共働きの多い中での個人、特に会長の負担はかなりある。
- PTA役員と先生、保護者の温度差(個々で違う)
- 加入は任意であるが強制感もある。
- PTA解散になると、収入源が無くなる。(必要なもの、部活動費や食堂運営にも影響する)
- 高校は通学する範囲が広いいため、もともと保護者の繋がりは薄い。

たくさんのメリット、デメリットもある中でこんな質問や納得な話がありました。

- 部活動が盛んな学校なので活動費が必要であり保護者も会費で賄うことに理解はしている。
- PTA役員をするまでは大変そうだったけど、やってみると意外と楽しい。そもそも役員自身が楽しめている？
- 生徒会とコミュニケーションをとって子供の本音を聞いてみる。そもそも子供のための活動だもんね。
- 学校はどう思ってるのか？
- 高P連に入るメリットは？とにかくPTAについて悪いニュースが多い。

私が地味に共感した内容。

これもある意味、多様性。

### 3. 所感・提言

近年、全国的にPTAへの風当たりが強くなっています。任意のはずなのに実質強制参加だとか、学校の第2の財布になっていて本来公費負担すべき学校の備品などをPTAからの寄付という形でまかなっているとか、中にはPTA自体をなくしたというニュースも見聞きます。強制的に加入させられたとのことでPTA会長や校長が教員から訴えられた学校もあるほどです。

戦後すぐにPTAが全国に普及したときや、子育て世帯にまだ時間的・金銭的な余裕のあった時代とは違います。PTAも社会情勢にあわせて変化していく必要があります。この分散会では、PTAの存在意義そのものについて話しあいました。

「PTAは本当に必要なのか」も含めた分散会ではありましたが、「PTAは不要」とする意見はありませんでした。PTAをよく知る会長・副会長で話し合ったこともあり、様々な課題を抱えているが総じて「PTAは必要」という内容でした。現実問題として、いまの公立学校の運営にはPTAは不可欠です。ただ、全ての保護者にPTAは必要と認識してもらうのは不可能でしょう。学校の設置者である自治体も、国も、PTAが必要であるのならば、PTAだけにその説明責任を負わせるのではなく、その存在の法的位置づけを明確にすべきです。

## 第7分散会 小規模校のPTA活動について

役員不足、会員不足、子供が卒業しても会長をせざるを得ない、生徒数が少ない、部活がなりたたない、統廃合、みらい留学など、小規模校どうして今後について話し合う。

### 1. 自由記述アンケート

- 違う地区の学校の方と意見交換ができて  
メリット、デメリットの認識が再確認出来て良かったです  
喋り倒して良かったです
- 色々な高校のPTAの状況や、意見などが聞かれて  
あっという間に時間が過ぎました。  
ありがとうございました。
- いろいろな意見を聞くことができ、今後の単Pの活動の参考にしたいと思います。
- 分散会のテーマが非常に的確なチョイスで話が弾みました。研修会の準備をされた皆さま、お疲れさまでした。
- 小規模校は教育内容に特色がないと生き残れない。初めて会った。皆さんともすぐ仲良くなれた。同じ境遇にある人の悩みは共通していることがわかった。
- 高校によつての任期などの違いが聞けてよかったです。
- 各学校で、色々困難なことがあり、試行錯誤されていたり、規約などをかえていこうと考えておられる方や、取り組み方をかえていった方などのお話を聞かせていただき、とても参考になりました。
- ありがとうございました。
- 大変有意義な時間でした。  
小規模ならではのデメリットはありますが、PTAからも学校の魅力を発信しつつ、地域との関わりを大切に、これからのPTA活動の質の向上に向けて、頑張っていこうと思います。ありがとうございました。
- 初めての参加でしたが、みなさんの学校での取り組みや悩みなど共感したり、参考になったりしてとても学びの多い時間でした。  
今日の学びを持ち帰り、保護者のみなさんへ伝えていきたいと思います。
- 色々な話が出来てとても良かった。  
カフェ方式が良かった。  
時間の経つのが早いと感じた。
- 小規模ならではのメリット、デメリット、各校での悩みも聞くことができ、貴重な時間となりました。頂いたアドバイスもあり、学校に持ち帰り、今後に役立てたいと思います。  
本研修会にご尽力頂いた方にお礼申し上げます。
- いつもですが、楽しく有意義な研修でした。参加しなければなかなか伝わりませんねえ。他の役員、次期役員にもお声がけしましたが、なかなかご参加いただけないのが課題です。第7分散会の小規模高校のPTA活動については、今後、県内高校の多くが関係する課題だと思います。また議論し、良い取組を考え行動する必要があると感じました。
- 各高校の取組みが、とても参考になりました。  
会長さんと楽しくコミュニケーションができて楽しく話すことができました！

まとめの資料が届くのが楽しみです！

ありがとうございました。

- 気さくに色々な学校とコミュニケーションがとれて色々な意見が聞けて有意義な時間がとれました。

## 2. 付箋記入内容

### 「役員」

- 県外からの生徒が多いので、近場の保護者にお願いするが、限界がある。
- 役員会議はZoomなどオンラインを活用する。
- 役員を決めるときは、子供たちにくじ引きさせる。
- 次期役員がなかなか決まらない。
- 役員任期は1年間。
- 規約上、卒業後も役員になれるようになっている。
- 役員が変わらず、次に繋げない。
- 役員はくじ引きで決めるため、やらされ感がある。責任を取ってなる方もいる。
- 役員の協力は大きい。
- 役員は身内になってもらうことが多い。
- 特支は小学校～高校までであるので、役員を続けてやりがちである。
- そもそも役員が少ない。

### 「活動、行事など」

- 学校以外の活動もあり負担感がある。学校内の活動におさまらない。
- イベントなどに出る人が固定される。
- 全体に依頼するが来ない人がいる。
- 単P以外に出ることが多い。

### 「学校行事、体育祭や文化祭など」

- 学園祭用に会費を集めて支出する。
- ステージ発表のみで、バザーや売店はない。
- 負担の大きい行事はできない。
- 農業科の生徒が販売するものをPTAが買い取っている。
- 学校全体でイベントするには限界があるので、地域一体で行う。
- コロナ禍後で、活動方法が分からず混乱。
- 体育祭の飲み物は無料配布。

### 「学校全体(先生、校舎など)について」

- 部活動の外部指導は依頼しにくい。保護者ボランティアに頼っている。
- 学校サイズは丁度良い。
- 先生が生徒に対して個性を活かす教育をしてくれている。
- 校則が緩い。
- 小規模ならではの良いところがある。

- 学校存続の確証がなく、寮ができない。
- 交通手段が不便。使わないからさらに不便になる。
- 卒業証書パネルを作成している。
- 小動物を飼っている。
- 学校の魅力PRのために地域、学校、PTAの本を出版した。
- どうしたら安価にPTA新聞を出せるか工夫している。
- スクールバスは経費がかかりすぎて無理。
- 先生も少なく、先生の負担も大きい。

#### 「PTA会費など」

- エアコン費用に使う。活動が少なく予算が余る。
- 子供のためにと別途、会費を取られがち。
- 会費を強制的に集めるのは問題がある。
- 会費が少なく活動ができない。

#### 「その他」

- 会長あいさつが日本語と英語。英訳をしている。
- PTAアンケートの結果、活動への理解が良くない。アンケートが返ってこない。
- 各部の自主性を尊重している。
- 行事ボランティアはその都度お願いしている。
- PTAとして、学校を変えたいだろうか？
- PTA加入、未加入で生徒、保護者に対し区別するべきなのか？

### 3. 所感・提言

「小規模校」の法的定義はありません。ある論文によると1学年で2学級、80人未満の学校を小規模校としていました。また小規模校の中でも、①生徒数の減少により小規模になり、このままでは存続が危ぶまれる学校と、②もともと小規模校として作られた学校の2タイプがありました。いずれの学校も、役員の成り手不足が課題です。

特に①の生徒数減による小規模校では、学校のPRや特色づくりなど、他では見られない活動が挙げられていました。

役員のなり手不足については、①くじで強制的に決める、②子供が卒業しても役員を続けるといった苦肉の策で対応していました。

2023年の出生数は80万人を切り全国的に子供が減る中、小規模化はどの学校にとっても他人事ではありません。規模の大きな学校でも、将来的な募集人数減少を見据えて部活の統廃合を進めています。

こうした中、小規模校の教育現場では、単独では十分な体制が取れないということで、ICTをつかって複数校での連携をすすめるなどの工夫をしているようです。PTAも、活動内容の整理とあわせて、複数校で合同で組織したり、アウトソースしたりといったことも検討すべき時期に差し掛かっています。